



岐阜市立岐阜東幼稚園  
令和3年2月19日  
こあら組だより No.34

### 動物や生き物になりきって動くことが楽しいね

『もりのおふる』の劇で子供たちは、自分で決めた動物や生き物になりきって手を動かしたり、ジャンプして動いたりする姿が見られます。自分達で描いたリンゴやブドウの木の前を1人ずつ通って登場していきます。少しドキドキしている子もいますが、簡単な台詞を話してとても楽しそうです。自然になりきることが楽しいのがこの年齢の子たちの良さです。『ふしぎなポケット』、『おもちゃのチャチャチャ』の曲で楽器遊びをしたりしています。リズムに合わせて体を左右に揺らして友達と一緒に歌うことを楽しんだり、楽器を鳴らしたりしています。

そして、たいよう組の『ももたろう』の劇を見せてもらいました。おばあさんが、「わしは、昔、鉄棒をしておったんじゃ。」と言って、鉄棒で連続逆上がりを披露すると、こあら組の子たちは、「すごい！」と歓声を上げていました。また、桃が割れて桃太郎が生まれると、「うわあー」と劇に見入っていました。たいよう組のお話には、忍者が出てきます。こあら組の子に感想を聞くと、「忍者がかっこよかった。」と言っていました。自分で考えたり、友達と一緒に考えてお話を作り上げたりしたすてきな劇でした。身近にいる年長児の姿が憧れとなり、よい刺激となっています。



### 進級記念作品作り 「オレンジ色ができた！」

なつめ組になることを楽しみにしている子供たち。先日身長を測ると2・3cm伸びている子が多かったです。こあら組の進級記念は、フォトスタンド作りをすることにしました。弁当や寿司のパックのふた（透明のプラスチック）をフレームのサイズに合わせて切って準備をすると、「描くとツルツルするね。」と友達に話しながらマジックで描く子や「これは、ヒマワリだよ。」と夏に園庭に咲いていたのを思い出しながら描く子もいました。紙粘土に絵の具を練り込んでおくと、好きな遊びなので、全員が椅子を運んで来て遊び始めました。Cさんは、ウサギの型抜きをして、次は、お団子を作っています。どんなイメージなのかなと思って聞くと「このお団子は、ウサギさんが食べるんだよ。」と真ん丸のお団子を作っていたのです。お団子を丸くするのは、難しいのですが、ウサギさんに食べさせてあげたいというイメージがあったのですね。フレームに貼るときにその2つを隣に並べていました。イメージを膨らませる姿がうれしいです。そして、「見て、オレンジ！」と見せてくれる子がいました。Dさんは、「どうやって作ったの？やり方教えて。」と興味をもって尋ねていました。「ピンクと黄色を混ぜたんだよ。」という言葉聞いてすぐにチャレンジしていました。どの子の作品も温かい雰囲気になりました。楽しみにしててくださいね。